



なご や じょう
名古屋城
 は か せ
子ども博士になろう



がくしゅう
学習シート2

— 名古屋城にはどんな建物や庭園があるのでしょうか —

なご や じょう たてもの ていえん み
名古屋城の建物や庭園を見てみよう



名古屋城には、「本丸」に**天守閣**・**小天守閣**、**本丸御殿**、**東南隅櫓**と**西南隅櫓**、**表二之門**と**旧二之丸東二之門**、「二之丸」に**庭園**と**大手二之門**、「御深井丸」に**西北隅櫓**があります。



てんしゆかく しやうてんしゆかく
天守閣と小天守閣

てんしゆかく がいかん じゆう ち か かい そうとうがた
 天守閣は外観5重、地下1階の層塔型
 てんしゆ しやうてんしゆかく がいかん じゆう ち か
 天守です。小天守閣は外観2重、地下1
 かい ちかい てんしゆかく ちかい はし
 階のつくりで、地階は天守閣の地階と橋
 だい いしがき つうろ むす
 台という石垣の通路で結ばれています。



すみやぐら
3つの隅櫓

ほんまる どうなんすみやぐら せいなんすみやぐら お
 本丸には東南隅櫓と西南隅櫓、御
 ふ けまる せいほくすみやぐら すみやぐら
 深井丸には西北隅櫓の3つの隅櫓が
 げんざい のこ せいほくすみやぐら きよ
 現在も残っています。西北隅櫓は「清
 すやぐら い じやうない
 須櫓」とも言われ、城内でただ1つの
 じゆうかい
 3重3階のつくりになっています。

どうなんすみやぐら せいなんすみやぐら そと
 東南隅櫓と西南隅櫓は、外から2
 じゆう み ないぶ かい じゆう3
 重に見えますが、内部は3階で、2重3
 かい
 階のつくりになっています。



せいほくすみやぐら じゆうようぶん かざい
 西北隅櫓 (重要文化財)



どうなんすみやぐら じゆうようぶん かざい
 東南隅櫓 (重要文化財)



せいなんすみやぐら じゆうようぶん かざい
 西南隅櫓 (重要文化財)

じょうもん いちのもん にのもん
城門 (一之門と二之門)

じやうない ほんまるおとてにのもん きゆうにの
 城内には、本丸表二之門と旧二之
 まるひがしにのもん にのまるおとてにのもん
 丸東二之門、二之丸大手二之門の3
 じょうもん げんざい のこ
 つの城門が現在も残っています。

じょうもん いちのもん にのもん
 城門は、2つの門(一之門と二之門)
 ますがた てき しんにゆう ふせ
 で「枘形」をつくり、敵の侵入を防ぐく
 ほんまるおとてに
 みになっていました。また、本丸表二
 のもん さゆう どべい てっほうざま
 之門の左右の土堀には「鉄砲狭間」
 じゆう もう いちのもん かたちやぐら
 が設けられています。一之門の形を櫓
 もん にのもん かたち こうらいもん い
 門、二之門の形を高麗門と言います。



ほんまるおとてにのもん じゆうようぶん かざい
 本丸表二之門 (重要文化財)



じゆうにのまるひがしにのもん じゆうようぶん かざい
 旧二之丸東二之門 (重要文化財)



にのまるおとてにのもん じゆうようぶん かざい
 二之丸大手二之門 (重要文化財)

てんかぶしん いしがき
天下普請の石垣

名古屋城の石垣工事は天下普請として、西国・北国の大名20家によって行われました。大小守台の石垣は、加藤清正によって築られました。守台の石垣は弓のようにそり、石の重みや土の圧力がたくみに分散されています。ゆがみにくく、しかも美しい形になっています。また、石垣工事に使われた石垣の石には、他の大名が運んできた石と区別するために、名前や記号などの目印が刻まれています。

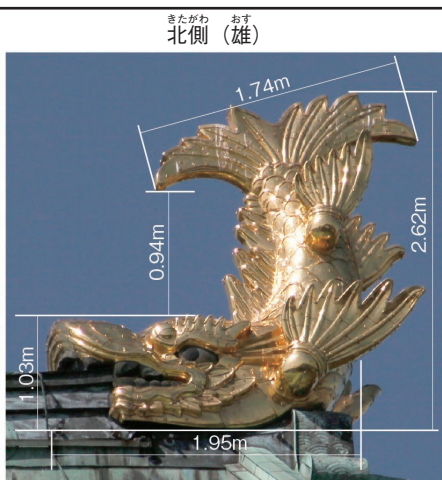
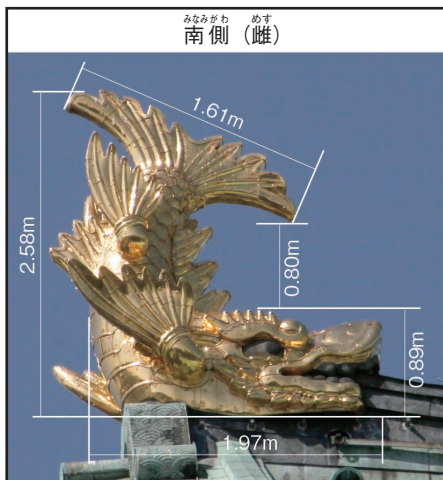


てんしゅだいいしがき
守台石垣

しょだい だいめ きんしゃち
初代と2代目の金鯨

名古屋城の天守の屋根には、建物火災から守る霊獣として、金鯨が載っていました。初代の金鯨に使用された金は、純度80パーセントの金、小判に

して1万7975両に相当するものでした。その後金鯨のうろこは何度も錆直され、1945年(昭和20)5月の空襲で、天守とともに焼け落ちてしまいました。現在の金鯨は、1959年(昭和34)につくられた2代目の金鯨です。



だいめ きんしゃち
2代目の金鯨

めいしょう に の まる てい えん
名勝二之丸庭園

に の まる てい えん しょだいよしな おいらい
二之丸庭園は、初代義直以来、
だいだい おわりはん はんしゆ す に の まる ご
代々、尾張藩の藩主が住んだ二之丸御
てん せつ だいいょうてい えん
殿に接してつくられた大名庭園です。

え ど じ だ い てい えん ず おお つきやま
江戸時代の庭園の図には、多くの築山
おちや や えが はんしゆ す じょうない ご
や御茶屋が描かれ、藩主が住んだ城内御
てん てい えん にほんいち きほ
殿の庭園としては日本一の規模です。

※「名勝」とは、景色がよく古くから残る有名な
ばしよ ばしよ
場所。

1617年 (元和3)	に の まる ご てん かんせい 二之丸御殿が完成しました。
1620年 (元和6)	しょだいよしな お に の まる ご てん うつ 初代義直が二之丸御殿に移り、 その後庭園がつくられました。
1804~30年 (文化・文政期)	だいなりとも てい えん だいいかいぞう 10代斉朝が庭園の大改造を おこな 行いました。
1953年 (昭和28)	きた お に わ まえ に わ めいしやう してい 北御庭と前庭が名勝に指定 されました。
2018年 (平成30)	に の まる てい えん ぜんいき 二之丸庭園のほぼ全域が めいしやう ついか してい 名勝に追加指定されました。

